

# 定例公安委員会の開催概要

定例公安委員会は、令和元年8月7日（水）に開催されました。

## 1 決裁事項

- ・ 令和元年度公安委員会及び警察本部長が行う政策等の評価について
- ・ 行政処分の実施について
- ・ 運転免許の取消処分について
- ・ 警察職員等の援助要求について

## 2 報告事項

### (1) 令和元年度警察署留置施設実地監査の実施結果について

県警察から、令和元年度警察署留置施設実地監査の実施結果に関する報告があった。  
令和元年6月19日から7月12日までの間、全警察署の留置施設を対象として、管理運営状況、被留置者の処遇について実地監査を実施した結果、全体として概ね良好であり、適正に留置管理業務が推進されていると認められた。

委員から、『指導があった事項については、今後適切に行っていただきたい。』との発言があった。

### (2) 令和元年上半期の生活安全関係公安委員会事務の専決処理状況について

県警察から、令和元年上半期の生活安全関係公安委員会事務の専決処理状況に関する報告があった。

「警備業法」、「古物営業法」、「質屋営業法」、「探偵業の業務の適正化に関する法律」、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律」、「銃砲刀剣類所持等取締法」等の各法令に係る許可事務等について、秋田県公安委員会事務代行規程等に基づき専決処理を行った旨の報告があった。

委員から、『一つ一つ細かなチェックをしなければならない点が多いが、法律の改正に沿って適切に願います。』との発言があった。

(3) 令和元年上半期の非行少年等の概況について

県警察から、令和元年上半期の非行少年等の概況に関する報告があった。

非行少年は41人と、前年同期より11人(21.2%)減少した。また、福祉犯の検挙人員は20人と、前年同期より6人(23.1%)減少、被害人員は23人と、前年同期より13人(130.0%)増加している。下半期に向けて、福祉犯の取締り等を強化するとともに、街頭補導活動、広報啓発活動等の非行防止対策に積極的に取り組む旨の報告があった。

委員から、『補導等は右肩下がりで良いと思う。反面、インターネットの発達により、目に見えないところがあると思われ、サイバーパトロールや学校との連携などにより今後の対応をお願いします。』との発言があった。

(4) 令和元年上半期の交通部関係公安委員会事務の専決処理状況について

県警察から、令和元年上半期の交通部関係公安委員会事務の専決処理状況に関する報告があった。

「道路交通法」、「道路交通法施行令」、「自動車運転代行業の業務の適正化に関する法律」の各法令に係る許可事務等について、秋田県公安委員会事務代行規程等に基づき専決処理を行った。

委員から、『引き続き適正な対応をお願いします。』との発言があった。

(5) 令和元年7月末の交通事故発生状況について

県警察から、令和元年7月末の交通事故発生状況に関する報告があった。

7月中の交通事故発生状況は、発生件数123件、死者数は4人、負傷者数145人と、前年同期より発生件数は27件、負傷者数は37人減少したが、死者数は1人増加した。

委員から、『これからまだまだ暑くなり、事故の発生が懸念されるため、引き続き対策をお願いします。』との発言があった。